#### **CITY OF YOKOHAMA**

# 26万人の児童生徒のビッグデータの活用で、 横浜の教育が変わります!

~データサイエンスを取り入れた横浜の挑戦! 学習ダッシュボードが全国最大規模で6月から運用開始~

2024年6月13日市長定例記者会見

明日をひらく都市OPEN×PIONEER

Yokohama

# 学習ダッシュボード

St★dy Navi 3つのポイント!

明日をひらく都市 OPEN×PIONEER YOKOHAMA

(よこはま スタディ ナビ)

1 ビッグデータ化

全国最大規模の教育データ基盤を形成します

2 エビデンス化 共創による教育データサイエンス・ラボの形成に挑戦

3 スパイラル化

横浜方式の教育EBPMのサイクルを創造します

教育委員会戦ビッグデータの蓄積 分析・活用学校・教職員子ども・・・・が・

#### 1 ビッグデータ化

収集•累積

### 全国最大規模の教育データ基盤を形成します

26万人の児童生徒一人一台端末とネットワークのつながりを活かす

明日をひらく都市 OPEN×PIONEER YOKOHAMA

#### 圧倒的な規模のデータ量

26万人児童生徒の学習、意 欲、健康などのデータがクラ ウドに、安全かつ円滑に蓄積

#### 児童生徒数の比較

→ 一貫した信頼できるデータの収集ができる、他に類をみないフィールドの価値

中核市 東京都A区 約8500人 約3万人

政令指定都市 (横浜市以外) 平均

約9万人

### 横浜市 約26万人

- ·市学力·学習状況調査
- ·体力調查
- 授業アンケート
- ・健康観察 ほか



時系列データの累積・解析 による将来予測

時系列データが累積することで、エビデンスの精度を 上げ、個々の学びの状態に 応じた効果的な指導が可能 → 9年間の学びと心の成長や変化、学習環境等との相関性を裏付けるデータの価値

 小1
 2
 3
 4
 5
 6
 中1
 2
 3

 児童生徒の進級に伴うデータの連続性
 新小1
 新小2
 新小6
 新中1

例えば、市学力・学習状況調査のデータだったら・・・

1年間で 26万人分 量

5年間で 130万人分

10年間で 260万人分

平成17年度の調査開始から 494万人分!

### 2 エビデンス化

共創·分析

## 共創による教育データサイエンス・ラボの形成に挑戦

大学、ICT企業、教職員の共同によるチームが教育ビッグデータ分析に取り組む

明日をひらく都市 OPEN×PIONEER YOKOHAMA

共創による データ分析

#### データサイエンスチーム

大学(横浜国立大学、名古屋大学、慶應義塾大学等) 企業(内田洋行、コニカミノルタ、NTT東日本等) 教職員等(情報研究会、養護教諭、SC等)

データサイエンス・ラボ に進化させます!

#### ダッシュボード等ビジュアル化

様々な視点から分析 した子どもの電子カ ルテを活用

学校·教職員



・子ども理解が深まる

・個に応じた指導が可能







子ども



学力や健康の データから、自分 に合った学び方や 教材が分かる



### 3 スパイラル化

共創・分析

### 横浜方式の教育EBPMのサイクルを創造します

**OPEN X PIONEER** 収集、分析、活用、更新のサイクルを回し、一人ひとりの個性に応じた教育を実現 YOKOHAMA

明日をひらく都市



# 学習ダッシュボードについて

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

